

企業関係者と弁理士の知財研究会

第14回（2021年度－3）・実施報告書

令和3年11月28日

保科敏夫・鈴木一徳

令和3年11月25日（木）に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第14回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス8名、5時半クラス4名。

参加者の内訳

① 3時半クラス

企業関係者5名（企業内弁理士1名、弁理士以外4名）、特許事務所（弁理士）3名
神奈川委員会委員3名、委員以外5名
会場受講2名、オンライン受講（Zoom）6名

② 5時半クラス

企業関係者2名（企業内弁理士1名、弁理士以外1名）、特許事務所（弁理士）2名
神奈川委員会委員2名、委員以外2名
会場受講0名、オンライン受講（Zoom）4名

テーマ

「中小企業庁の『知的財産取引に関するガイドライン・契約書のひな形』（2021年3月31日）を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む」

内容

今年3月31日に中小企業庁が発表した知的財産取引に関する契約書のひな形（秘密保持契約書・共同開発契約書・開発委託契約書・製造委託契約書）について、企業、特許事務所、法律事務所がそれぞれどのように読み、どのような感想を持ったかについてディスカッションを行った。

担当者コメント

今回も、3時半クラス、5時半クラスともに、遠隔地からご参加いただいた方が複数名いらっしゃった。

映像及び音声についても、おおむね問題なく進行することができた。

今後の予定

第15回（2021年度－4）令和4年1月27日（木）テーマは、「発明のとらえ方」

第16回（2021年度－5）令和4年3月4日（木）*通常は第4木曜日開催のところ、第16回は、第1木曜日に開催。テーマは、「よい明細書とは」

以上